事業名	14	各種スポーツ教室の開催	所管課	スポーツ課
内容	ホームタウンチームと連携したスポーツ教室の開催，各チームが実施する学校訪問事業の仲介など，小中学生がトップアスリート等と触れ合ったり，直接指導を受ける機会を創出していくことで，低年齢期からスポーツに親しみ，運動習慣を定着させるきっかけとなる取り組みを実施していく。			
期待する効果	市のスポーツを活かしたまちづくりの推進 参加者の技術向上やホームタウンチームである柏市への愛着を深めること			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏レイソル，ENEOSサンフラワーズ，JR東日本グリーンウォリアーズ東葛，YBC柏，千葉ロッテマリーンズ，千葉ジェッツ，AZ-COM丸和MOMOTARO'S		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
				○	○	○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
①	各種市主催スポーツ教室の参加人数	↑	538人	490人	609人	620人
②						
③						

評価	学校訪問事業としてYBC柏と連携したTボール教室を7校（419名）で実施。また，市内中学校のバスケットボール部員を対象としたバスケットボール教室をENEOSサンフラワーズ及び千葉ジェッツと連携して実施（190名）。その他，ホームタウンチームが独自に実施しているスポーツ教室や学校訪問授業等の案内，周知に協力を行った。
今後の方向性	引き続きホームタウンチームと連携し，幅広い年齢層を対象に各種スポーツ教室を開催することで，市民が柏市への愛着を深めるとともに，スポーツへの関心や参加機会を増進し，スポーツを活かしたまちづくりを推進する。

事業名	15	スポーツ推進委員活動	所管課	スポーツ課
内容	スポーツ推進委員派遣事業（「指導者の育成」，「団体の独立」を目的とし，地域や学校等で実施するスポーツ大会や行事にスポーツ推進委員を派遣し運営のサポートを行っています。）			
期待する効果	地域スポーツの推進役として，日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い，スポーツ実施率の向上を図る。参加者増加と，スポーツ実施率の向上。			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市スポーツ推進委員協議会		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
				○	○	○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
①	スポーツ推進委員活動参加者数	↓	2,770人	3,965人	3,216人	3,500人
②						
③						

評価	実施行事の周知をなるべく行ってきたが，周知力の限界を感じる。多方面にアピールできる新しい媒体等の導入も視野に入れる。 R4,5,6年度と回復傾向にあったが，R7年度は思うように参加者数が伸びなかった。例年通りの事業やマンネリ化を防ぐことができれば，参加者数増加も見込める。
今後の方向性	実施行事ごとのイベント周知に力を入れ，チラシによる周知以外にSNSを活用するなど，より多くの方々に情報を届けられるようにする。 また，委員の年齢層が高く，スポーツイベントとしての活力が不足する部分もあるため，若い人材を集められるよう人材確保にも力を入れていく。

事業名	16	フレイル予防事業（身体活動・運動）	所管課	地域包括支援課
内容	主に高齢者に対するフレイル（介護）予防事業のうち，身体活動をテーマとしたプログラムについて，リハビリテーション専門職，運動トレーナー等が講座を開催する。			
期待する効果	高齢期の必要な運動及び身体活動に関する周知により，身体機能低下を防ぎ，フレイルを予防する			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市在宅リハビリテーション連絡会，柏市社会福祉協議会，地域包括支援センターなど	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
				△	○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① フレイル予防・健康づくり出前講座参加者数	↑	1,192人	1,353人	1,417人	
	② 地域包括支援センター主催の教室参加者数	↑	1,356人	1,228人	1,273人	
	③ フレイルハイリスク者への個別支援件数	↓	33件	32件	21件	

評価	令和７年度はサロンなどの活動が活発化したことから，フレイル予防出前講座や地域包括支援センター主催の教室開催や参加者数が増加した。フレイルチェック等からのハイリスク者個別支援数は減少したが，支援対象者の早期把握や継続的なフォローにより，自身の心身の変化への気づきや予防行動の定着につなげることができた。。 令和８年度も同様に，各地域でフレイルチェックや出前講座，地域包括支援センター主催事業を実施し，市民の意識・行動変容（身体活動の促進）につながるよう働きかけていく。
今後の方向性	今後もフレイル予防の中での「運動」をテーマとして講座を継続的に開催していく。 ハイリスク者への集団支援（フレイルチェックや講座），個別支援を継続する。

事業名	17	かしわ健康アプリ「ワニFit」	所管課	健康増進課
内容	１８歳以上の市民を対象として，歩数・食事・体重等の健康管理やウォークラリー機能が搭載されたアプリを活用しながら，各種健康増進の取組と連動させ，楽しみながら継続できる健康づくりを推進する。			
期待する効果	運動習慣が定着し，普段あまり歩かない人でも、歩数記録やウォークラリーをきっかけに，運動習慣が定着し，継続的に歩く人が増える。			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	健康政策課，地域包括支援課，柏市民健康づくり推進員連絡協議会	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
				○	○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① ワニFitウォークラリーコース数	↑	―	4	4	9
	② ワニFitウォークラリーゴール回数	↑	―	―	4,830	6,000

評価	コース数については，新しく４コースを作成。市主催のウォーキングイベントの開催やウォークラリー公開に関するお知らせ配信，ウォークラリー機能を紹介するYouTube動画の公開等により，ウォークラリーの周知及び利用促進に取り組んだ。また，年度後半からは，柏市民健康づくり推進員と協働でのウォークラリーコースの作成に着手した。令和８年度以降，順次公開するとともに，柏市民健康づくり推進員と連携しながら周知を図っていく。
今後の方向性	令和８年度は，柏市民健康づくり推進員と新規９コースを作成する予定。作成したコースは柏市民健康づくり推進員と連携し，地域活動で活用しながら周知を図る。また，タイムライン機能を活用してウォークラリー機能を紹介するほか，アプリホーム画面のバナーや，各種SNSにてウォークラリー紹介動画（YouTube）を周知し，ウォークラリー機能の認知度向上と利用者数の増加を目指す。

事業名	18	健康づくり普及啓発事業（身体活動・運動）	所管課	健康増進課
内容	イベント，健康教育の中で運動習慣に関する啓発を実施。「運動に関するリーフレット」等を配付，依頼の健康教育の実施。テーマだけでなく，生活習慣病予防を含めた幅広い内容で実施。 柏市民健康づくり推進員主催の講座の実施，健康アプリ「ワニFit」の普及啓発。			
期待する効果	個々の健康状態に適した運動を継続できるようになる			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市民健康づくり推進員連絡協議会，沼南支所，図書館		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期：○ 高齢期：○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 啓発実施者数（身体活動・運動）	↑	447人	422人	496人	600人
	②					
	③					

評価	・図書館や沼南支所ロビー，柏市民健康づくり推進員による文化祭にて，生活の中で取り入れられる運動の運動方法の等の配布，握力測定，ワニFitの活用等運動に関する啓発を行った。地域団体や企業へ依頼の健康教育・出張出前講座を計４回実施。 ・運動定着につながっているかは，評価できていないが，前年度より啓発機会や啓発者数は増加しており，より幅広い層へアプローチすることができた。
今後の方向性	引続き図書館展示や文化祭での啓発，依頼の健康教育を継続して実施していくとともに，ワニFitの周知啓発を強化し，運動習慣定着のきっかけとして活用していく。また，ワニFitのアクティブユーザー数の増減等も評価するにあたり，視点の一つに加えていく。

事業名	19	保健事業利用費助成事業（運動事業）	所管課	健康増進課
内容	18歳以上の柏市国保被保険者と後期高齢者医療保険被保険者に対し，申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付（1枚1,000円相当）。はり等施術事業，お口のクリーニング事業，運動事業に利用できる。 運動事業は，運動習慣の獲得及び継続を支援するため，市の指定を受けた運動施設で入会時にかかる費用や運動指導・運動教室の利用費用を助成する。			
期待する効果	被保険者の健康の保持増進			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市フィットネス振興会 市内の運動施設 スポーツ課		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期： 青壮年期：○ 高齢期：○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 運動事業利用者数（国保）	↓	435	433	469	
	② 運動事業利用者数（後期）	↑	373	398	496	
	③					

評価	平成29年度から保健事業利用助成事業のメニューに，運動習慣の獲得及び継続を支援し，健康の保持増進を図ることを目的に運動事業を追加している。 保健事業利用券申請者に対する運動事業の利用者の割合は，微増の傾向
今後の方向性	被保険者の健康の保持増進を図るため，事業を継続実施していく。

事業名	20	健康遊具の利用促進	所管課	公園緑地課
内容	市内の公園にある健康遊具の位置について，市民へ周知を図る。			
期待する効果	健康遊具の位置に対する市民の認知度を高めることで，運動習慣の定着や運動しやすい環境づくりへの寄与を図る。			

関係課 関係機関 （民間企業含む）	健康増進課	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
				○	○

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① ホームページによる周知	―	―	―	―	
	②					
	③					

評価	現状は，健康遊具の位置について，市民に周知できていない状況であり，健康遊具の利用促進ができていない。
今後の方向性	ホームページに健康遊具に関するページを設置する。

事業名	21	「新体力テスト」の実施	所管課	指導課
内容	文部科学省が平成11年度から導入した体力・運動能力を測定する調査で，国民の体力現状を把握し，体育・スポーツ指導の基礎資料とすることを目的としている。市立小中学校児童生徒一人ひとりが自身の体力・運動能力を知り，生活習慣の改善や体力向上を促すためのもので，筋力，俊敏性，瞬発力，持久力，柔軟性などの能力を測定する。			
期待する効果	児童生徒の体力向上			

関係課 関係機関 （民間企業含む）	千葉県小中学校体育連盟柏支部	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
			○		

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 全国平均を上回る項目	↑	13.2%	27.0%	12.50%	
	② 県平均を上回る項目	↑			22.22%	
	③					

評価	小中学校における体力の低下は一時，改善が見られたものの，依然として低い状況で推移しているため，体力向上に向けた学校体育における具体的取り組みについて協議を重ねている。 引き続き，関係機関と，系統的で魅力ある体育授業のあり方について研究を行い，外部講師からの講義や先進的な取組について広く共有を図っていく。
今後の方向性	・体育学習の充実「運動の楽しさを実感できる授業の展開」 児童生徒が「運動が楽しい」と実感し、運動することへの意欲化を図る体育授業を展開できるよう具体的な指導法や児童生徒が夢中になって取り組む活動例についての情報を周知する。

事業名	22 「小学校体育授業サポート事業」	所管課	指導課
内容	小学校10校・体つくり運動を中心とした体育の授業支援		
期待する効果	児童の運動への意欲・技能の向上，先生方の指導力向上		

関係課 関係機関 （民間企業含む）	契約課により契約されたサポート事業担当業社（オークスベストフィットネス）	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
			○		

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 年間２１０時間の授業支援・実施校の満足度 （児童・教職員アンケート項目の平均値）	―	―	―	88.80%	
	②					
	③					

評価	全ての児童生徒が運動に触れる体育の授業において，児童生徒が「楽しい」と感じる授業を展開することが必要となる。 また，体育学習以外の運動機会を意図的に創出し，運動習慣を身に着けさせていく。
今後の方向性	・日常的な運動習慣の形成「体育学習以外の運動機会の創出」 休み時間等に体育的行事と連携した運動イベント等への取組を提供し，放課後等に自主的に身体を動かす遊びに取り組むような内発的動機づけを目指す。

事業名	23 「運動部活動指導者派遣事業」	所管課	指導課
内容	中学校運動部活動・専門的な指導ができる運動部活動指導者の派遣		
期待する効果	運動部活動に加入している生徒の意欲・技能の向上		

関係課 関係機関 （民間企業含む）	千葉県小中学校体育連盟柏支部	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
			○		

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 中学校運動部活動指導者派遣数	↓	各校 1～7 計81人	各校 1～7 計76人	各校 1～7 計88人	
	②					
	③					

評価	学校からの要望を基に専門の指導者を各学校に毎年派遣している。これにより，部活動に加入している生徒が専門的な指導を受け，意欲や技能の向上が期待されている。実際に，専門的な指導は一定の成果をもたらしている。
今後の方向性	・専門家や関係団体の研究担当等と連携した体力向上につながる取組の検討 専門的見地からの助言に基づいた児童生徒体力の現状の分析・考察・取組を検討する。

事業名	24 学校体育施設の開放事業	所管課	スポーツ課
内容	地域のスポーツ団体の活動を推進するため、学校教育に支障のない範囲で小学校、中学校、高等学校の運動場、体育館等を登録団体に無料で開放。対象は柏市内の市立学校。		
期待する効果	運動場所の提供及び柏市内のスポーツ実施率の増加		

関係課 関係機関 （民間企業含む）	柏市内の市立学校	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
			○	○	○

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 学校開放利用団体数	↑	411	448	471	480
	②					
	③					

評価	学校開放利用団体数は年々増えている。しかし，利用団体の固定化により，新規団体の参入が困難になっている。 また，市外在住者の割合が多い団体もあるため，より多くの市民に利用される仕組みにしていくことが課題にあげられる。
今後の方向性	教育委員会と協議し，より多くの市民が平等に利用できるよう制度の見直しを図る。

事業名	25 【再掲】健康遊具の利用促進	所管課	公園緑地課
内容	市内の公園にある健康遊具の位置について，市民へ周知を図る。		
期待する効果	健康遊具の位置に対する市民の認知度を高めることで，運動習慣の定着や運動しやすい環境づくりへの寄与を図る。		

関係課 関係機関 （民間企業含む）	健康増進課	ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期	青壮年期	高齢期
				○	○

実績値 及び 次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① ホームページによる周知	―	―	―	―	
	②					
	③					

評価	現状は，健康遊具の位置について，市民に周知できていない状況であり，健康遊具の利用促進ができていない。
今後の方向性	ホームページに健康遊具に関するページを設置する。

事業名	26	シェアサイクル事業	所管課	交通政策課
内容	まちなかの複数のサイクルステーションに配置された自転車を，ステーション間でいつでも相互利用できる有料サービス「シェアサイクル」について，R７年２月５日より運用開始。			
期待する効果	・日常利用からレジャーまで，地域住民・従業者・来訪者の移動利便性向上 ・自家用車からの利用転換が図られ、交通渋滞や環境負荷の低減にも貢献			
関係課 関係機関 （民間企業含む）	OpenStreet(株)，㈱モビリティプラットフォーム		ライフステージ	乳幼児期・学童期・思春期：○ 青壮年期：○ 高齢期：○

実績値及び次年度指標	項目	目標増減	Ｒ５実績	Ｒ６実績	Ｒ７実績	Ｒ８指標
	① 市内のステーション数		－	－	136	
	②					
	③					

評価	R7年2月5日の事業開始時は，柏駅・南柏駅・新柏駅・高柳駅の周辺を拠点に58箇所（公有地：54箇所，民地：3箇所）であったが，エリアを柏の葉キャンパス駅，豊四季駅周辺にも拡充し，R7.11月末時点で95箇所となった。 また，利用者も，サービス開始時は1,000人/月に満たなかったが，R7.10月末時点では2,500人/月まで増えている。
今後の方向性	他の地域へサイクルステーションを拡大し，市民・来訪者の更なる移動利便性の向上に向け，関係者との協議・調整を進めていく。